

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第9回〕会議録

1. 附属機関等の会議の名称 松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第9回〕
2. 開催日時 令和2年1月29日（水） 19時00分から19時45分まで
3. 開催場所 松川町役場 2階 大会議室
4. 出席者氏名
【対策委員】※敬称略
中川初俊、米山忠章、関克義、大澤今男、清水正育、林貞喜、小椋吉範、米山俊孝、坂本勇治、寺沢秀文、松下敏章、中島芳夫、南島由美子、小林幸彦(代理 松井泰樹)、松浦善文
(欠席者：松澤吉保、橋爪和也、熊岡正志、小澤文人、宮下彰、北林誠)
【長野県】
飯田建設事務所リニア整備推進事務所 胡桃調整課長、忠地係長
【飯田市】
リニア推進部 細田部長、塩沢参事、米山リニア整備課長、下平リニア推進課課長補佐
【町】
宮下町長、久保副町長、小木曾課長、佐々木係長、河野主事
田中課長、小沢課長、池上課長、矢沢課長、下井課長、塩倉課長、加山局長
5. 議題（公開）
(1) 飯田市代替地整備に伴うトンネル発生土の活用について
6. 非公開の理由（会議を非公開とした場合）
—
7. 傍聴人の数
8人
8. 会議資料の名称
・会議次第（町作成）、資料（飯田市作成）
9. 会議の概要
(1) 開会
(2) あいさつ
(3) 会議事項
上記のとおり

(4) その他

(5) 閉会

10. 会議録

(1) あいさつ

(米山委員長)

本日は月末の、また夜分ご多忙の中、大勢の皆様にご出席いただき感謝申し上げます。今回はレジュメにもあるとおり、飯田市より飯田市代替地整備に関する説明がある。限られた時間の中で会議ではあるが、質疑応答もあるため、皆様の協力をいただいで会が進行できることをお願いし、挨拶とさせていただきます。

(宮下町長)

本日は、多忙の中お集まりいただき感謝申し上げます。前回の会議でお詫びさせていただいたとおり、今まで滞りがちになっていたこの会議だが、なるべく頻度を上げていきたいということで今回開催をさせていただいた。今回のこの話というのは、関わる地域のみならず、この地域全体を巻き込んだ話にしなければならない。今日は飯田市から説明に来ていただいているが、私の町がということではなく、上伊那も含めて私たちがこれから地域としてどうあるべきかを考え始めないといけない段階に来ており、そういった発展的な話になることを思っているため、忌憚のない意見を出していただきながら、私たちの地域の未来を明るく考えていけるきっかけの場として、よろしく願いしたい。

(長野県/胡桃課長)

県では推進事務所となっているが、実際は調整ということで、皆さんにお繋ぎするということがメインとなっている。細かなことも含め、地域に影響のあることを話し合い、皆さんの声をJR東海はじめ関係箇所にお繋ぎ申し上げますため、どうぞよろしくお願いしたい。

(飯田市/細田部長)

本日は、手元の次第にもあるとおり、飯田市で計画している代替地の整備に伴う発生土の活用について、皆様に説明とお願いをさせていただきたく思う。詳細については、後程の会議事項で説明をさせていただくため、どうぞよろしくお願いしたい。

(2) 会議事項

(1) 飯田市代替地整備に伴うトンネル発生土の活用について

〔飯田市/細田部長より説明〕

〔質疑応答〕

(清水委員)

ダンプが1日100台ということは、5～6分に1台ということになる。それが往復になるとということで、地域の安全を十分に確保していただきたい。また、私どもの生活道路として、上新

井交差点を通り、園児や小中学生の送り迎えをしており、今でも非常に混雑をしている。このことに対してどのように考えていただけるかお聞きしたい。

(飯田市/細田部長)

ご指摘いただいた、通勤時間や通学時間には当然配慮をさせていただかなくてはならないと思っている。安全対策という観点からもそうだが、渋滞も踏まえる中で、この地域を車両がどういった形で運行していくかについても町と調整をさせていただき、対応していきたいと考えている。

(清水委員)

交通渋滞について調査をしているのか。現時点でも十分渋滞をしているところにダンプが通るようになると、より渋滞してしまう。しっかりと把握をしていただき、可能であれば速やかに国道に出られるようなことも検討していただきたい。

(飯田市/細田部長)

しっかりと把握をさせていただいた上で、対応できるよう考えていく。

(米山委員)

運搬ルートとは直接関わらないとは思いますが、下小松川橋付近の交差点の東側部分は、車両が曲がるのにあたって大変不都合であると区民から改善の要望が出ている。今一度確認していただき、対処をお願いしたい。

(県/胡桃課長)

困っていることはどんどん言っていただきたい。私の方から関係する課にお繋ぎする。

(米山委員長)

下小松川橋の交差点から、上新井に向かうルートがどこを通るか分かりづらい。

(飯田市/細田部長)

七椏神社の前を通る、県道 59 号線・松川インター大鹿線のルートである。

(関委員)

上新井交差点を往復するということが、ダンプが赤信号にもかかわらず右折をしてきたことがある。表示をダンプに付けるということだが、一瞬のことで確認ができないことがある。防犯カメラなどを設置することで何かあった際に安心できると思うがどうか。

(県/胡桃課長)

信号機や交差点に防犯カメラを付けるためには、道交法の関係で協議をする必要がある。長野市にも設置をしている箇所はあるが、雪などによる道路状況の確認のためである。交通を守る、守らないというために付けるというのは県としては厳しい。良い意見だとは思っているので、警察と協議をしていく中で付けられるようなら検討していきたい。

(飯田市/細田部長)

飯田市としても、業者に対して安全運転に気を付けていただき、住民の方の交通に支障をきたさないよう徹底をしていきたいと思う。

(林委員)

上新井の交差点について、東から上がってくる側に右折する車があるとほぼ待たなければならない。そうすると渋滞が下まで続くようになってしまうため、2車線化(右折レーン設置)にしていただきたい。信号についても、大島方面に比べ半分ほどの時間調整となっている。そのこともあるため、もし可能であれば鶴部の方に上がるルートも検討していただきたい。現時点で混ん

でいる状態にダンプが加わると、かなり詰まるのではないか。

(県/胡桃課長)

2車線化については以前から話があり、県としても問題と考えているが、下のカーブから国道までの間が短いこともあり、なかなか進まない状況である。再度意見があったことを持ち帰りたと思う。鶴部方面へのルートについては、現在、道路の規格が上ということで県道を使うことを考えているが、地元からそういったご要望があるならしっかりと町と相談する中で、再度検討をしていきたい。

(大澤委員)

林委員と同じ意見だが、上新井交差点を往復するルートは厳しいと思う。帰りについては鶴部を降りるルートもよいと思うが、本陣の交差点から松川沿いに行くルートも考えられるのではないかな。

(飯田市/細田部長)

県道と違い構造の問題や町の都合などがあると思うため、しっかり町と相談していききたいと思う。

(米山委員長)

いずれにしても、町も交えて地元と協議していただいて、できる話を進めていただきたい。

(宮下町長)

町としては、まずこの会議に話を上げてから地元の説明をしていきたい。その中で今のような議論は必ず出てくると思うので、道路の規格なども踏まえ相談していききたい。地域への話をする際には区長の皆様にもご出席いただき、ご協力をお願いしたい。

(清水委員)

危険な行為があった際の報告先は。

(飯田市/細田部長)

資料の最後の頁にあるリニア推進部の担当にご連絡いただきたい。

(大澤委員)

運搬時期が令和2年3月からとなっているが、やはりそれまでには結論を出すということか。

(飯田市/細田部長)

代替地に移転される方に大分お待ちいただいている中で、大よその形を造り、それをベースに契約していただくことを考えており、それが今年の9月の予定。逆算すると今年の3月には運び出さないとという経過があり、可能であればお願いしたい。

(大澤委員)

そうすると、期間が約1ヶ月しかないが、町としては結論が出せるのか。

(宮下町長)

飯田市では、大鹿村や中川村とも話をして了解を得て松川町まで来ていただいている。松川町としても、できれば同じ地域のことであるため協力をしていきたい。地域の方と話をして、調整しなければいけない段階まで来ていると思うので、間に合うようにやっていく。

(中川委員)

先ほど清水委員からあった、ダンプでの迷惑行為に対する連絡先について、この会議に参加をしている委員は承知していると思うが、本当に必要な住民に、ここへ(電話を)架けると言われて

も分からない。町や交番など、身近に連絡ができる場所ということも考えていただきたい。

(飯田市/細田部長)

私たちの方に責任があるということで、このように説明をさせていただいた。ご指摘があったとおり、住民の皆様がご連絡を取りやすいようにということなので、そこも踏まえて町と相談させていただきたい。

(3) その他

(事務局)

欠員が出ている対策委員の公募委員について、1月に応募を掛けさせていただいたところ、多くの応募をいただいている。現在、選考を行っているところであり、次回の会議から参加していただくことになると思うので、よろしく願いしたい。

以上